

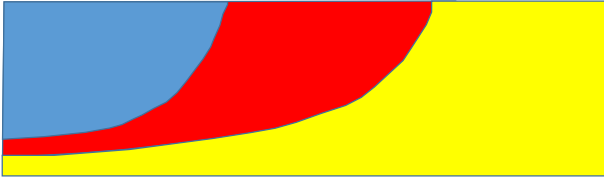
第2期掛川市教育振興基本計画（案）に関するパブリックコメント

1 実施期間 平成30年12月28日（金）～平成31年1月28日（月）

2 意見数（人数） 31件（女性5人・男性7人 合計12人）

3 意見の内訳

項 目	件数
第1部 序	
第2部 総論	
第1章 教育への取組	0
第2章 教育を取り巻く社会の状況	3
第3章 掛川市における教育の主要課題	1
第4章 「人づくり構想かけがわ」の基本目標・基本方針	2
第5章 各分野の基本目標	0
第6章 施策の体系	2
第3部 各論	
第1章 市民総ぐるみの教育	2
第2章 乳幼児教育	1
第3章 学校教育	16
第4章 社会教育	0
第5章 図書館	0
その他	1
自由意見	3
合計	31

No.	ページ	項目	意見
1	14	子どもの貧困の広がり	就学援助希望の家庭が増加していますが、希望が通らない家庭も多いです。保護者の生活の安定が学校生活での安定につながると考えます。貧困対策計画の充実を望みます。
2	15	教職員の多忙化	教職員の働き方改革が問題になっていますが、なかなか根本的な解決は難しいと感じています。教員の意識改革も必要ですが、市や教育委員会の行事、会合もスリム化していくことを望みます。
3	15	学校規模の適正化	報道等にもあるように、掛川市でも避けて通れない問題だと思えます。保護者や地域の方の気持ちを汲みながら、子どもたちにとってより良い方向性を打ち出していきたいと思えます。
4	16・38	確かな学力の育成	学校図書館の持つ役割には、①教育課程の展開に寄与すること、②児童生徒の健全な教養の育成の2面があることは今更申し上げるまでもないことですが、この基本計画では①の面についての言及が全くありません。P16やP38の「確かな学力」の項で、新学習指導要領の「主体的で対話的な深い学び」を引用して、そのためには、学校図書館の利活用の推進や整備の充実が必要なことを是非入れてほしい。激変する社会に対応できるよう「新しい学力観」が打ち出され、図書標準の設定・司書教諭の必置・学校司書の法制化・学校図書館整備計画・指導要領の改訂等条件整備が進められてきているのに、このままでは、従来から指摘されている「学校図書館」は狭義の読書指導の場のままになってしまいます。
5	20	基本目標	「凜から未来の創造へ」とても良いと思います。これからの社会を豊かにしていくには新しいアイデアを生み出す力が必要です。「豊かな未来を創造する」という言葉が、それをはっきりと表してくれていると思いました。
6	20	基本目標	新しい基本目標が示されました。今、豊かな未来を「創造」できるかどうか私たちに課せられています。未来を生きる子どもたちのために掛川の教育がどうあるべきかを市民総ぐるみで考えていくことを大事にしていることが伝わってきます。市民一人一人がそれぞれの立場でできることを考えていきたいと思えます。
7	23	施策の体系	<p>「市民総ぐるみの教育」の下にある乳幼児教育、学校教育、社会教育は、割合が増えていくような図になると良いのではないのでしょうか。</p> 
8	23	市民総ぐるみの教育	今回、「市民総ぐるみの教育」が1分野として取り上げられたことを学校関係者として、有り難く感じました。これまで「中学校区学園化構想」推進の結果として、地域住民の学校ボランティアの活動も、成果をあげてきています。今後、様々な分野での協力を進めて、より学校教育が充実することを望みます。

No.	ページ	項目	意見
9	28	市民総ぐるみの教育	掛川市ならではの「3つの宝」を大切にしたいです。特に「中学校区学園化構想」の推進に力を入れていきたいです。そのために、本文にもあるように「子ども育成支援協議会」とより良い関係を図っていきたいと考えています。1つ心配していることは、地域コーディネーターを引き継ぐ人とその育成です。現在の地域コーディネーターはボランティアで子どものために、学校のためにと活動してくださっていることも多いです。引き継いでくださる地域コーディネーターの発掘と育成をどのように進めていくかの具体策を盛り込んでほしいと思います。生涯学習協働推進課との連携も考えられると思います。
10	28	評価指標	今回項目ごと、「評価指標」を設定したことで、めざすところが、明確でわかりやすくなったと思います。また、達成したかどうかの評価も、はっきりすることが期待できると思いました。
11	28 ～	評価指標	次の2つの目標値が実態に即しているかどうか疑問に感じました。 ①2-3 園で実施している子育て事業により…安心して子育て…90% ニーズが多様化している中、A評価90%が現実的な数字なのか疑問に思います。安心して子育てできるかどうかは園での支援事業だけで判断できるのものではない、と考えますが。 ②3-4 地域防災訓練への参加率 …90% 土日の過ごし方が多様化し、防災意識とは別の理由で参加義務を課することが厳しくなっている、という地域の方の声も聞きます。地域の実情に応じた防災意識の高まる指標や指標値を考えたいです。 例) 当日参加できない場合は防災家族会議をする、等何らかの形で防災について考える機会とする。
12	38	確かな学力の育成	変化の激しい社会の中で、希望を持ってたくましく生きていくことのできる力を身に付けることは、大切だと思います。学校と地域・社会が互いに手を取り合って子どもたちを育成していこうとする意識を持つことも大切だと思います。また、小学校外国語活動支援員の派遣の充実をさらに進めていく必要を感じます。
13	38	確かな学力の育成	現状と課題について全く正しい認識であると思います。しかし、学校について考えると、やるが多すぎて何を最優先に進めるかという点が問題になります。児童保護者との信頼関係を深めていくことがすべての基盤です。学校生活のゆとりが必要です。
14	39	小中一貫教育	これまで取り組んできた中学校区学園化構想による保幼小中の連携は、子どもの教育にとって有効なものであったと思います。その成果を生かしながら小中一貫教育を進めていけたら良いと思います。指定学園の研究の成果を学びたいと考えています。
15	39	情報教育の推進	タブレットやPCを活用して、様々な情報収集を簡単にできる反面、感性豊かな子どもたちが、安心して賢く使用できるような教育をお願いします。また、タブレットやPC等の情報機器は、使い方が様々なため、将来、子どもたちが興味を持ち、創造的な使い方ができる様に指導をお願いしたいです。

No.	ページ	項目	意見
16	39	情報教育の推進	計画にあるように、学校教育において、ICTを効果的に活用する能力を向上させることは、これからますます重要になってきます。今後も、ICT機器など、ハード面での充実を積極的に進めていただきたいです。
17	39	情報教育の推進	本市は、掛川市教育情報化推進基本計画を平成27年度から平成31年度で策定しています。ICT機器整備は、大きな予算が動くため、豊かな未来を創造する力を育てるために必要なICT環境を整える大胆な推進（整備）計画を立て、何を整備するのか明確にしておかなければならないと思います。現計画のことに触れ、次年度以降に現計画を見直していく方向性を示したらどうでしょうか。
18	39	情報教育の推進	無線LAN等の通信環境が整わない中での推進は、無理があると思います。ハード面の整備を強く望みます。また、情報教育を推進できる教員も不足しています。教員への研修の充実を望みます。
19	40	外国語教育の充実	日本語でのコミュニケーション力を大切にして、外国語の教育をお願いしたいです。
20	40	特別支援教育の充実	特別支援教育は、早期対応が重要だと考えます。一層の幼稚園・保育所・認定こども園との連携を進めることができる体制づくりを希望します。
21	40	外国人児童生徒への指導の充実	外国人労働者に対する規制が緩和されたことにより、外国人児童生徒の増加が予想されます。市内で拠点校を設け外国人児童生徒への専門的な指導を行う方法も検討していったらよいと考えます。
22	42	健康教育と体力・たくましさの育成	市が行うアレルギー研修会だけでなく、病院での感染症対策などの研修もあり、大変良い機会をいただきました。今後も児童生徒の健康の保持増進に努めるために、このような機会をいただけたらと思います。
23	42	健康教育と体力・たくましさの育成	学校保健委員会の開催促進のため、講師の連絡・派遣等をしてくださるところがあるとありがたいです。例えば、思春期講座（助産師）、子ども向けの救急法（消防士）、生活リズム（保健師）など。
24	43	防災教育の推進	自分の命を自分で守ることができるよう防災教育の推進は進めていくべきだと思います。地域を巻き込んだ避難訓練や原子力対応の避難訓練も積極的に実施できるとよいと思います。
25	45	地域とともにある学校づくり	学校では、キャリア教育を意識した取組を計画的に実践して行きたいと思います。キャリアノートの取組についても検討中です。
26	45	未来へつなぐ学校づくり	教職員の教育力を高めることや学び続ける教職員を目指すことは大賛成です。しかし、事務処理の負担軽減で子どもと向き合う時間の確保は無理です。定数増が無理なら、市独自の支援員の配置をお願いします。
27	49	食物アレルギー対応の充実	市内で統一されている手引に沿った対応ができるため、大変良いと思います。

No.	ページ	項目	意見
28		その他	<p>個別的事項</p> <p>①P11「情報教育」は、広く図書館とAIを結びつけて考え、融合された指導はできないか。</p> <p>②P17(1)で、学校司書の全校配置を、P18(4)で「チームとしての学校」の観点から、学校司書の配置を入れられないか。</p> <p>③P21学校教育で、ここでも「主体的・対話的で深い学び」を使いたい。</p> <p>④P25見出し「対話的」をいれないと新学習指導要領の趣旨が生きない。</p> <p>⑤P39評価指標「学校図書館資料を活用した授業の割合（文科省の学習状況調査項目にある）を入れたい。</p> <p>⑥P39(3)で「学校図書館の活用」の活用を入れたい。</p> <p>⑦P41「学校司書」は派遣ではなく配置ではないか。</p> <p>⑧P42評価指標⑤で指摘した「学校図書館資料活用の授業の割合」を入れてほしい。</p> <p>⑨P46(3)教職員の勤務状態は危機状態のようだ。中教審も対応策を打ち出したが、掛川市ではそれを受け止めてどう対応するのか、方向付けがほしい。磐田市のような市独自で教員の採用ができるよう検討を始めたらどうか。</p> <p>⑩P62(3)に「調べ学習コンクール」は生涯学習宣言都市にふさわしい事業だ。さらに充実させるよう項目に入れてほしい。</p> <p>⑪P65(3)「静岡新聞データベース・日経テレコムなどの活用法の講習」を入れてほしい。</p> <p>⑫P67学校評価指標に⑤で指摘した「学校図書館資料活用の授業」を入れてほしい。</p>
29		自由意見	<p>これまでの掛川市の教育実践や現在の課題から、今後の方向性を的確に見出し、提案している素晴らしい計画だと感じました。掛川市の学校教育、掛川市のこどもたちの未来がとても楽しみです。</p>
30		自由意見	<p>学校のトイレの老朽化に伴う臭いの問題や洋式化への取組について、学校の裁量で行えるものと考えている傾向が強く感じます。エアコンの設置が決まって、大変ありがたいですが、次はトイレの問題に焦点が移っていくものと思われます。個々の学校の問題ではないので、市としての方針を出していただくことを希望します。</p>
31		自由意見	<p>様々な事業を掛川市として策定していただきありがとうございます。教職員の人材不足の中でも、国や保護者からの要求事項が多いものと察します。そのような中でも、市民にアピールして事業活動を理解してもらえるように、活動されていることを初めて知りました。掛川市としての飛躍を期待しています。</p>